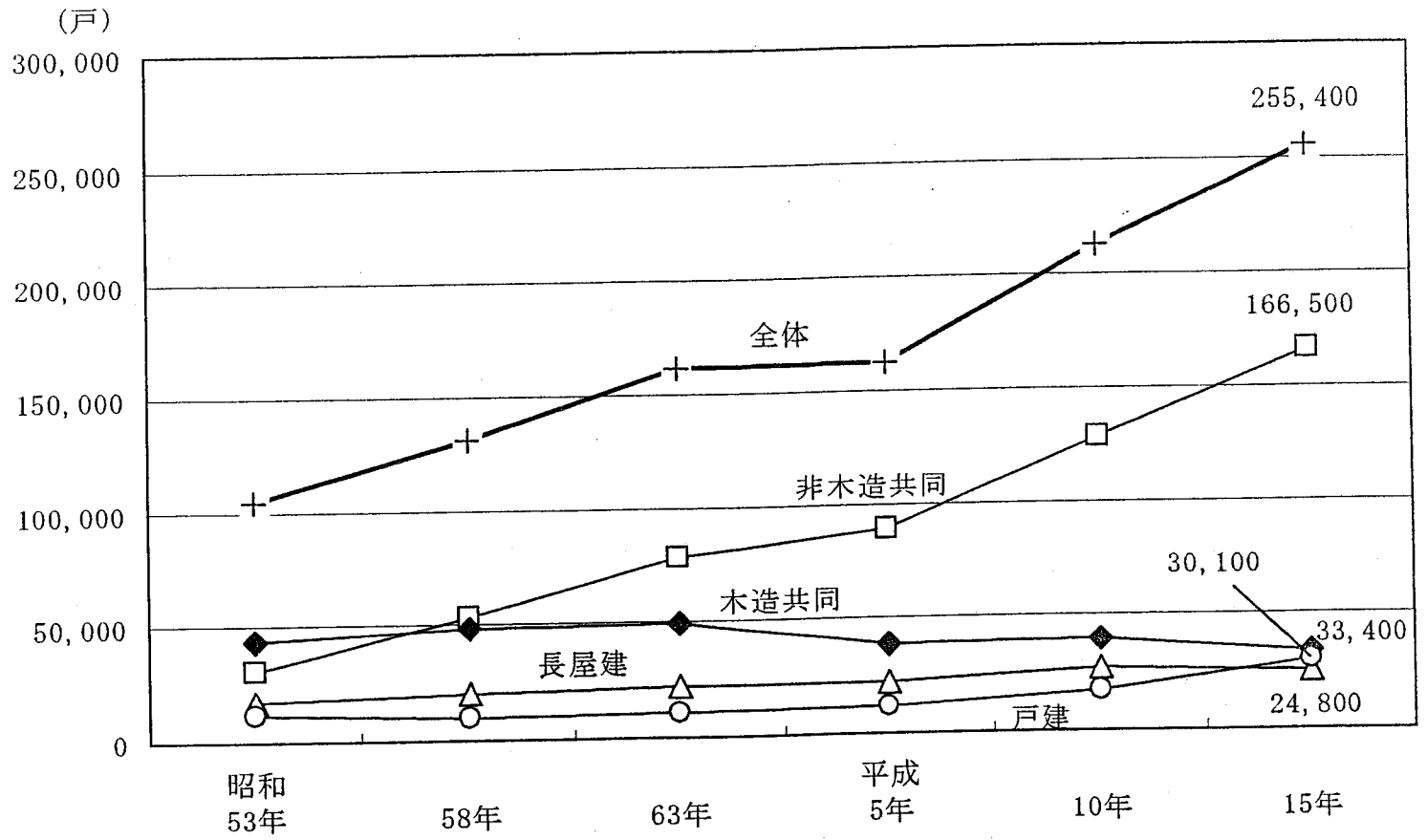
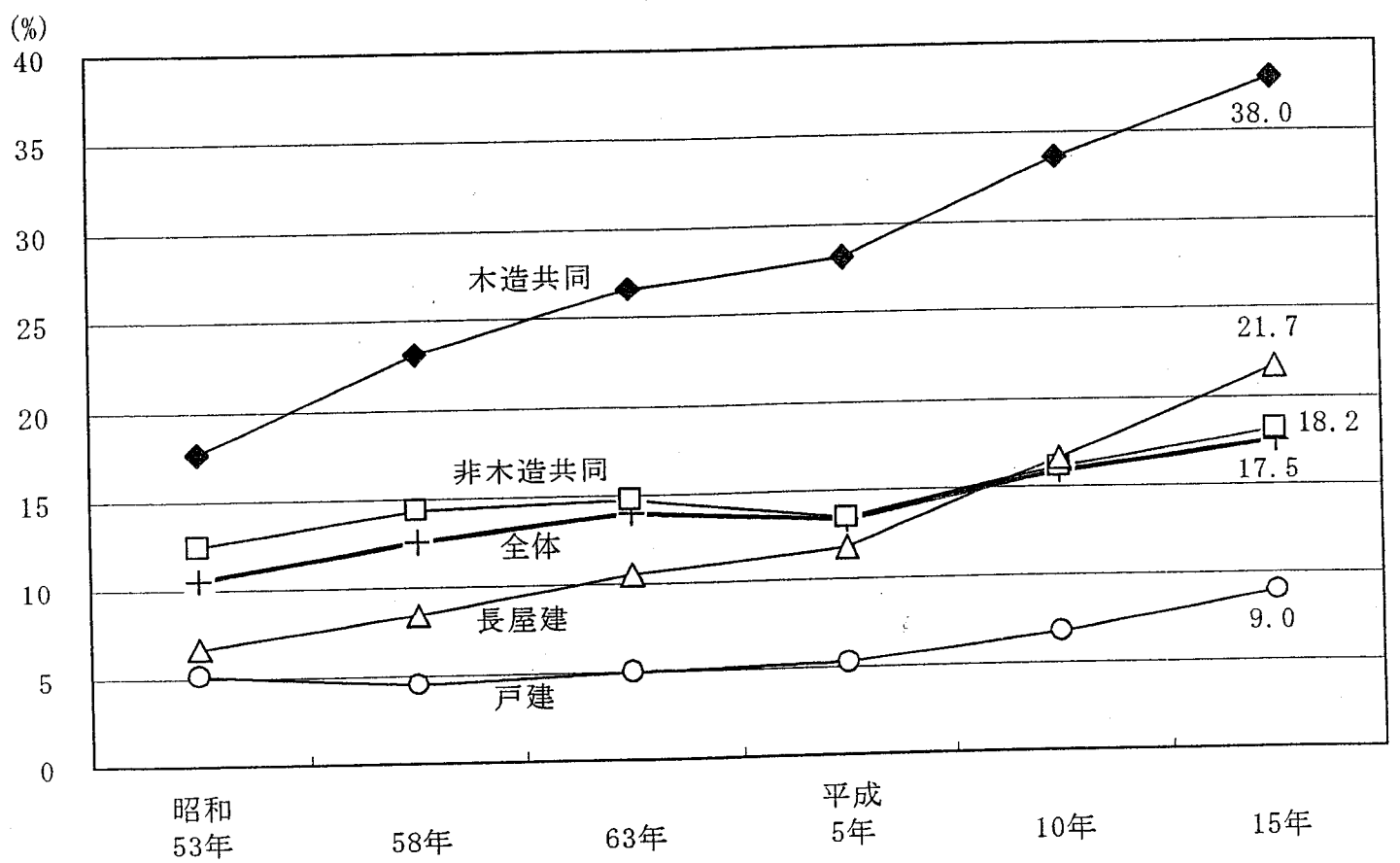


図2-2 建て方、構造別空家戸数の推移（大阪市）（P4）



資料：住宅・土地統計調査（総務省）

図2-3 建て方、構造別空家率の推移（大阪市）（P4）



資料：住宅・土地統計調査（総務省）

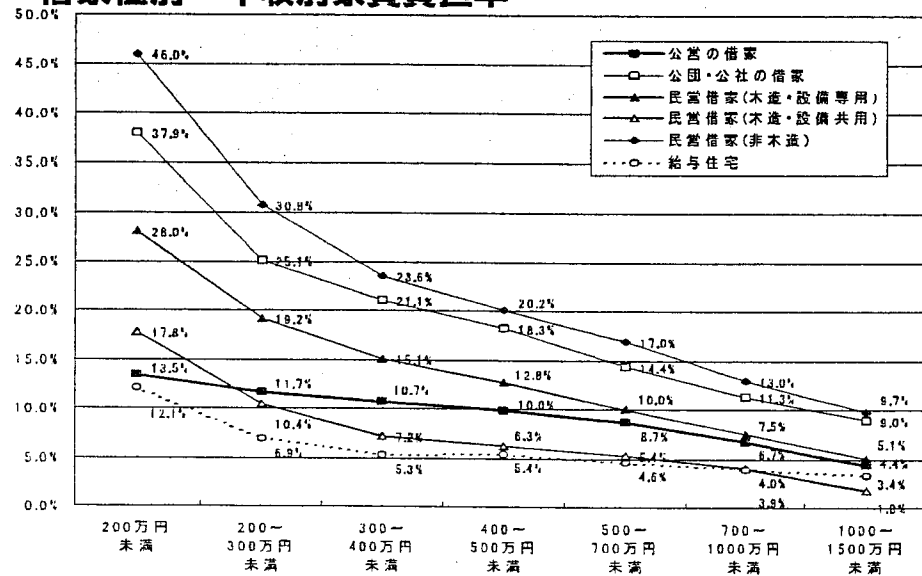
【所有関係別の家賃と家賃負担の状況】

借家種別の平均家賃は、公営2.9万円に対して、公団・公社6.5万円、民間借家（非木造）7.1万円となっている。  
 家賃負担率を比較すると、公営住宅と他の住宅との差が大きくなっている。

借家種別世帯収入別一ヶ月当たり平均家賃 [単位：円]

	借家総数	公営借家	公団・公社借家	民間借家(木造・設備専用)	民間借家(木造・設備共用)	民間借家(非木造)	給与住宅
総数	55,208	28,602	65,403	42,352	22,280	70,860	24,906
200万円未満	40,802	17,029	47,392	35,462	22,354	58,110	23,962
200～300万円未満	49,778	24,383	52,211	40,429	21,822	64,513	17,779
300～400万円未満	56,348	31,210	61,579	44,505	21,316	69,330	17,596
400～500万円未満	62,855	37,348	68,593	48,463	23,586	75,979	22,489
500～700万円未満	68,608	43,615	72,045	51,449	26,776	85,738	24,576
700～1,000万円未満	73,040	47,343	80,054	54,726	28,440	92,712	30,260
1,000～1,500万円未満	80,765	45,719	93,951	54,071	18,511	103,016	39,716

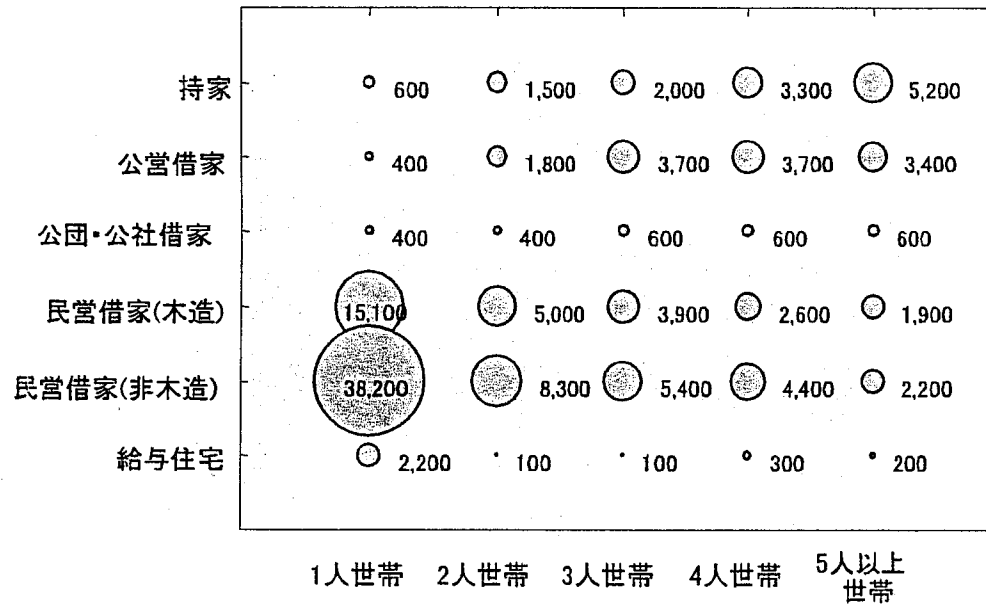
借家種別・年収別家賃負担率



【最低居住水準未満世帯の状況】

最低居住水準未満世帯は、民間借家（非木造）・1人世帯に最も多く38,200世帯となっており、ついで民間借家（木造）・1人世帯が多い。  
 最低居住水準未満率では、民間借家（木造）が最も高く23.6%となっている。

所有関係別・世帯人員別最低居住水準未満世帯数



所有関係別世帯人員別最低居住水準未満世帯率

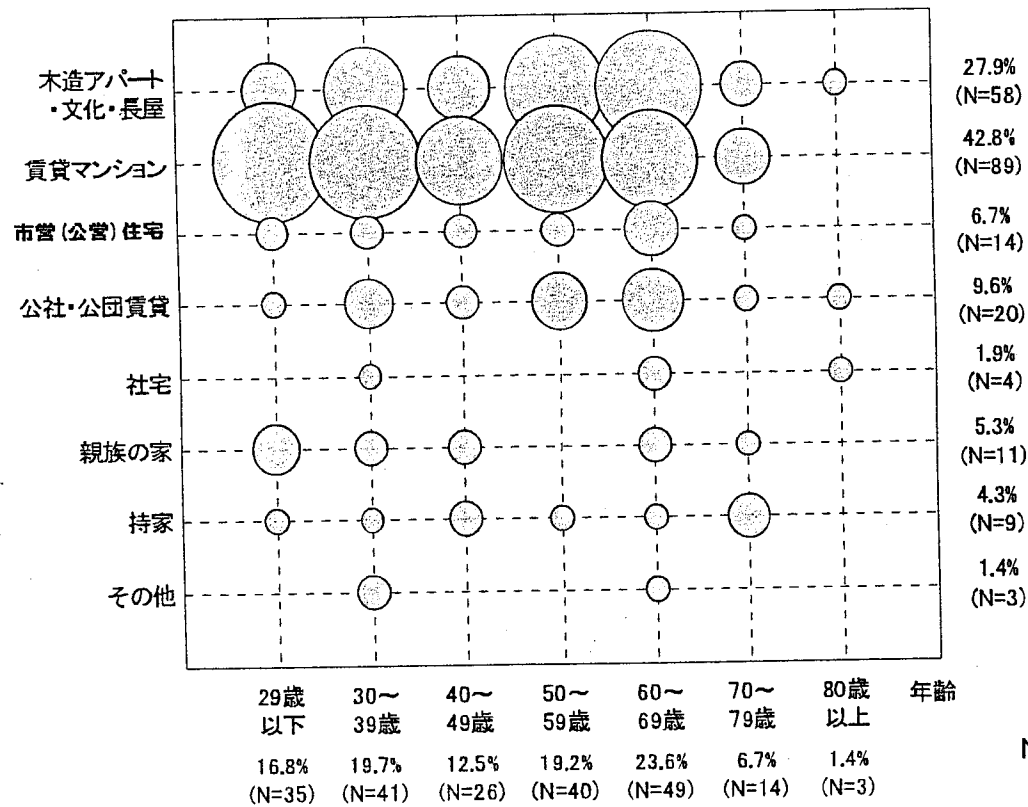
	総数	1人	2人	3人	4人	5人以上
主世帯総数	9.9%	12.1%	5.3%	8.6%	10.5%	19.7%
持家	2.6%	0.6%	1.0%	2.1%	3.7%	10.6%
公営借家	12.0%	1.3%	4.6%	20.1%	28.5%	60.7%
公団・公社借家	7.6%	3.1%	3.7%	9.7%	14.6%	42.9%
民間借家(木造)	23.6%	25.1%	15.4%	26.9%	29.9%	48.7%
民間借家(非木造)	16.2%	16.8%	11.7%	14.3%	21.8%	33.3%
給与住宅	13.5%	18.8%	2.9%	3.8%	10.7%	22.2%

資料:住宅・土地統計調査

### ③市営(公営)住宅応募者の状況

#### 【従前の居住形態と世帯の状況】

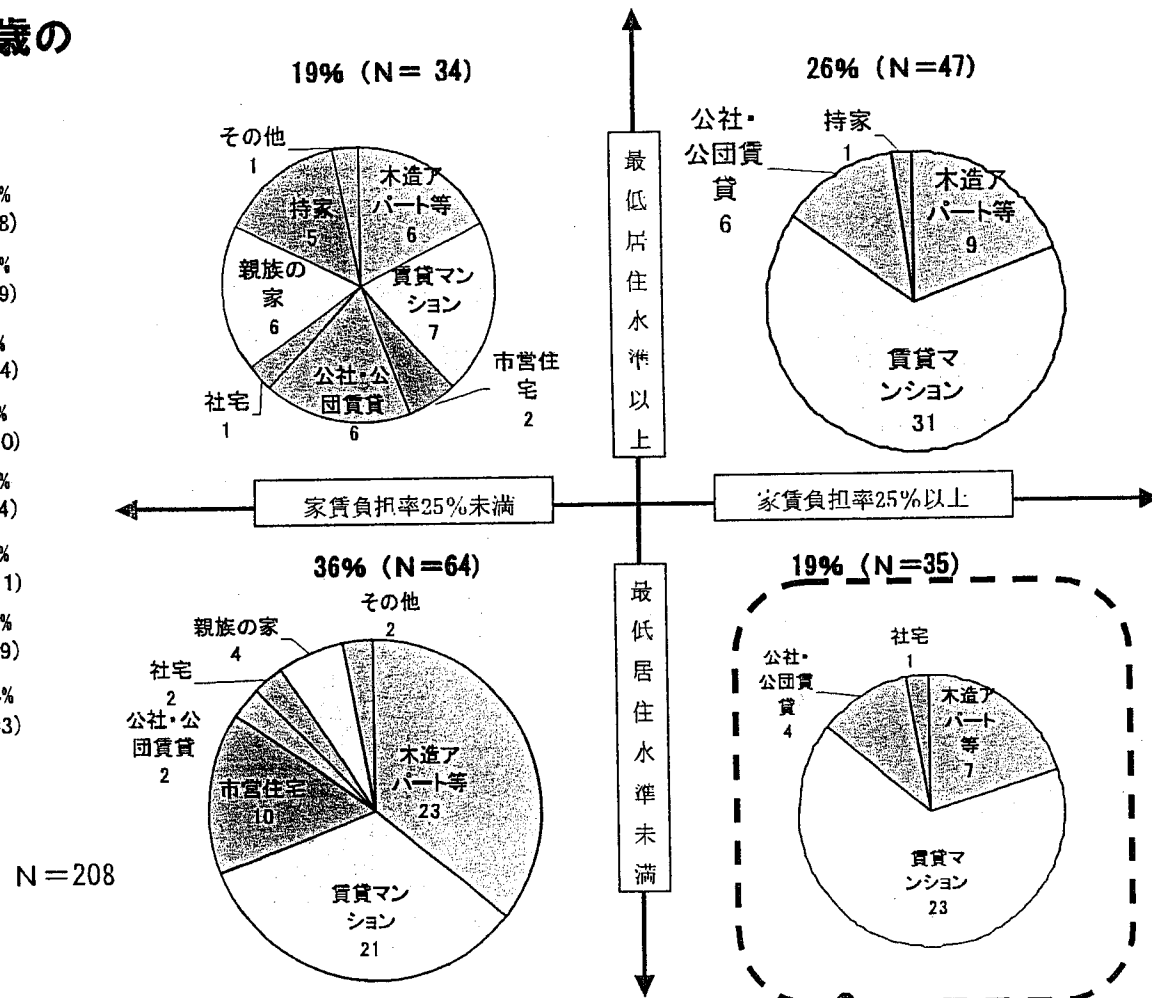
従前の居住形態は賃貸マンションが最も多く(42.8%)  
次いで木造アパート・文化・長屋住宅等(27.9%)  
となっている。世帯主年齢別では60~69歳が最も多い(23.6%)  
木造アパート・文化・長屋住宅等では、50~69歳の  
高齢者が多い。



従前住宅所有関係別・世帯主年齢別世帯数

#### 【従前の居住水準と家賃負担】

従前の住宅が最低居住水準未満で、かつ家賃負担率が25%以上の世帯は全体の19%となっている。  
一方最低居住水準を満たし、かつ家賃負担率も低い世帯が19%ある。



従前住宅所有関係別・居住水準・家賃負担率

最低居住水準未満かつ家賃負担率の高い世帯

資料:H17大阪市調べ